

銅 概 況

大阪市中央区玉造2丁目28番10号
加藤金属興業株式会社

◎ 2021年3月の国内電気銅建値は下記の通りです。

3月	1日	～	1010 円/Kg
3月	3日	～	1040 円/Kg
3月	5日	～	980 円/Kg
3月	9日	～	1030 円/kg
3月	12日	～	1040 円/kg
3月	17日	～	1020 円/kg
3月	22日	～	1030 円/kg
3月	24日	～	1010 円/kg
3月	29日	～	1030 円/kg

2021年3月度は平均で1022.10円/kgとなり、前月比104.00円/kgの値上がりとなりました。

海外銅価の動き

3月のLME銅相場	3/1 ～ 3/20 (安値ドル 8,781.00～9,266.00 高値ドル)
3月のNYC銅相場	3/1 ～ 3/29 (安値セント 398.50～423.15 高値セント)

3月度のLME現物は2月終盤の高騰からはやや落ち着いたのか、1日\$9,198.00でスタート。LME在庫は74,200tと低水準。ただ、中国への期待感か、コロナ危機後の需要への期待感なのか、銅相場の高騰は収まらない。自動車を始めクリーンエネルギーへの移行による重要性はあるとはいえ、9年ぶりに記録した\$9,000を約1ヶ月維持した事は異常と言わざるを得ない。供給への不安感が大きな後押しの要素なのか？

銅需給バランス…P社情報 2021年1月 資料より (単位/千トン)

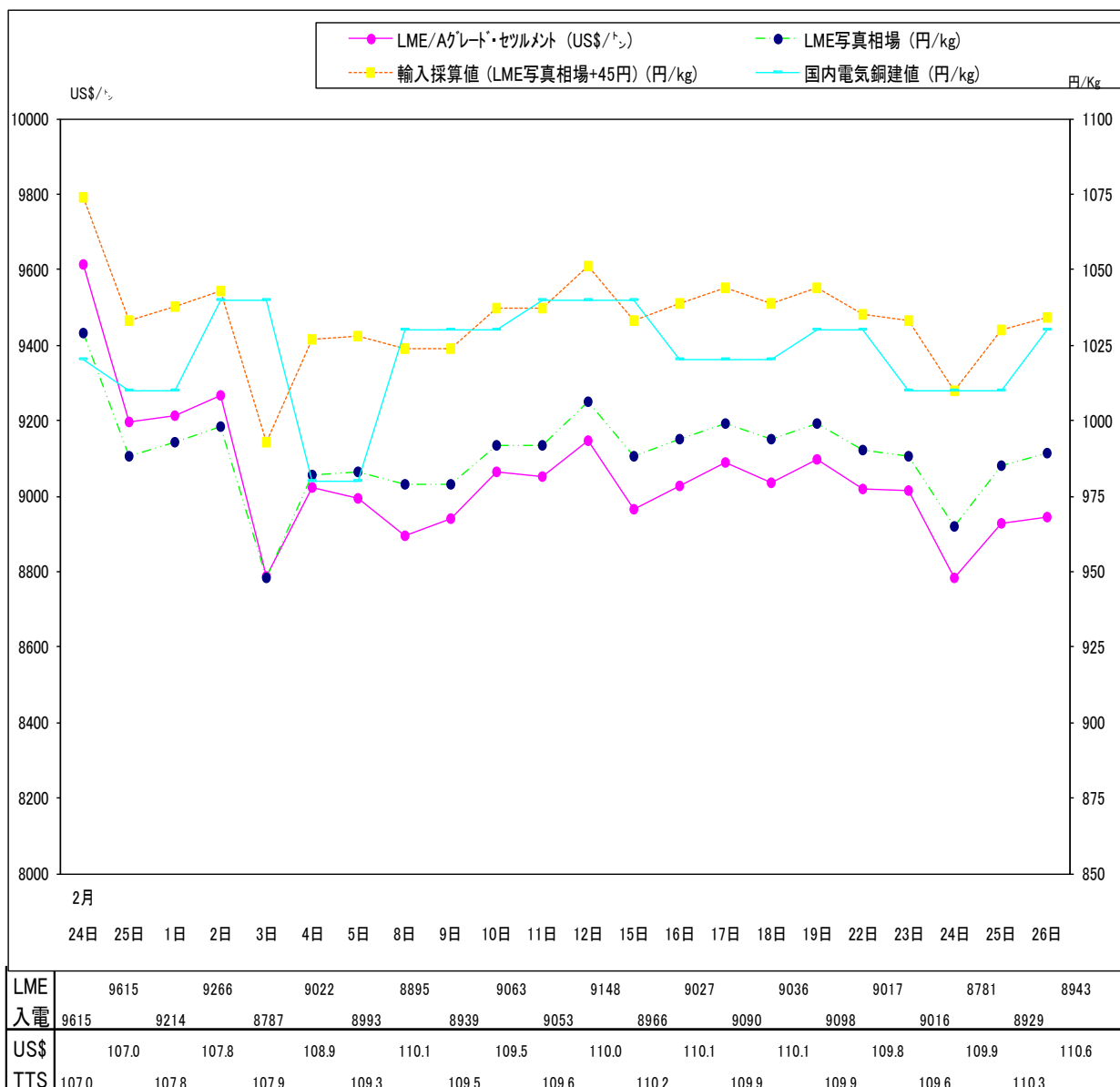
	2020年 実績	2021年 実績	前年比	2022年 予想	前年比	2023年 予想	前年比
全世界地金生産	23,270	23,845	+2.5%	24,518	+2.8%	25,219	+2.9%
全世界地金消費	22,993	23,691	+3.0%	24,417	+3.1%	25,142	+3.0%
全世界需給バランス	+277	+154		+101		+77	

先行き短期見通

国内銅価

3月の国内建値は1日1010円でスタート。3日1040円、5日にはLMEが\$8,000台に下落したことから980円としたが、その後は1000円台を小幅に推移する形にて、9日1030円、12日1040円、17日1020円、22日1030円、24日1010円、29日1030円と計8回の建値変更となった。3/29付LME\$8,942.50、同為替(TTS)1USD=110.67円で日本円換算計算値990円/kgに。2021年4月度の国内電気銅建値のスタートは、変化のない限り1030円/kgの予想です。

◎ LME相場推移及び国内電気銅建値推移



◎ 2021年3月の国内亜鉛建値は下記の通りです。

- 3月 1日 ~ 346 円/kg
- 3月 5日 ~ 343 円/kg
- 3月 10日 ~ 352 円/kg
- 3月 15日 ~ 358 円/kg
- 3月 18日 ~ 361 円/kg
- 3月 23日 ~ 367 円/kg
- 3月 26日 ~ 355 円/kg

平均354.20円/kg

2021年3月は上記の通りで前月比 14.00円/kgの 値上げとなりました。

これはLME亜鉛相場が上昇したため。

◎ その他の建値

電気鉛	3月	276.40 円/kg	(前月比-	2.60 円/kg)
電気錫 (相対)	3月	4,380.00 円/kg	(前月比+	300.00 円/kg)
ニッケル (溶解用)	3月市中価格	1,900.00 円/kg	~ 1,950.00 円/kg	
銀	2月平均	94,130.00 円/kg	(前月比+	6,470.00 円/kg)
	3月31日	87,000.00 円/kg		
金	2月平均	6,169.94 円/g	(前月比-	89.69 円/g)
	3月31日	6,012.00 円/g		

◎ 伸銅品関係

2021年2月の伸銅品・品種別生産速報 (全国ベース)

		1月度実績	2月度速報	前月比	前年2月度実績	前年同月比
銅	板	1,093	1,178	7.8%	1,363	-13.6%
	条	21,433	23,195	8.2%	20,275	14.4%
	管	7,302	8,082	10.7%	8,856	-8.7%
	棒	1,562	1,738	11.3%	1,976	-12.0%
	線	275	313	13.8%	235	33.2%
黄銅	板	459	553	20.5%	561	-1.4%
	条	7,582	8,288	9.3%	7,267	14.0%
	管	401	403	0.5%	500	-19.4%
	棒	13,526	14,804	9.4%	14,089	5.1%
	線	1,769	2,203	24.5%	2,109	4.5%
青銅	板	2,367	2,100	-11.3%	2,383	-11.9%
	条					
	棒	260	280	7.7%	238	17.6%
	線					
洋白・その他	板	476	426	-10.5%	431	-1.2%
	条					
	棒	349	417	19.5%	358	16.5%
	線					
合計	58,854	63,980	8.7%	60,641	5.5%	

2月の伸銅品生産速報は、63,980トンで前月比プラス5、12618トン、前年同月比プラス5.5%となり、前年同月比が2ヶ月連続でプラスとなりました。

電 線 関 係

電線工業会がまとめた銅電線主要7部門別出荷数量の20年12月分実績及び21年1月分推定によれば、12月分実績は新型コロナが響き7部門中、主力の建販部門が振るわず減少するなど4部門が前年同月を割込み、総計は5万4千208tで前年同月比4.4%減と19年10月以来15ヶ月連続で減少した。コロナ禍で、新年度(4月)以降二桁減が9月まで続いたものの、10～12月連続で減少幅が一桁台まで圧縮してきており、1月推定を含めるとこの状況は4ヶ月間続く見通しとなった。電気機械、自動車部門ともクルマの生産台数が上向いてきたのが寄与した。

12月分の7部門別電線出荷をみると、プラスグループは3部門となり、電力は洋上風力発電向けやCV関係が伸び前年同月比5.4%増加し、2ヶ月連続での伸長。電気機械は自動車の電装用途と半導体向けが7.2%増え、久々に4ヶ月連続の増加となった。自動車は一部日系顧客の需要が好調なほか、需要が戻りだした車種もあり同7.4%増え、3ヶ月連続での増加となった。

一方マイナスグループは4部門。通信はGIGAスクール向けLANケーブルと携帯電話基地局用同軸が5G向けに動くも、その他が鈍化し同8.4%減。建設電販は市販、電設両ルート共に苦戦で同8.2%減少し11ヶ月連続で前年同月を割り込んだ。その他内需はコロナ禍等による景気低迷で民間企業の設備投資の鈍化により同14.1%低下。輸出もコロナの影響強く同50.0%減少した。

2020年12月分(実績)・2021年1月分(推定)主要部門別出荷

部門	数 量						金 額		
	12月実績 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	1月推定 (t)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)	12月実績 (百万円)	対前月 比(%)	対前年同 月比(%)
通信	743	▼18.3	▼8.4	900	(21.1)	1.5	1,280	▼15.8	1.2
電力	(1,124)	(2.5)	(17.7)	(1,200)	(6.8)	(▼10.4)	(761)	(▼12.8)	(8.1)
	3,396	▼19.1	5.4	4,100	20.7	2.9	4,161	▼21.3	9.0
電気機械	(249)	(▼10.1)	(▼17.8)				(248)	(▼12.7)	(▼6.4)
	11,718	▼1.5	7.2	11,100	▼5.3	3.9	13,880	0.4	▼7.3
自動車	(180)	(▼0.6)	(9.8)				(670)	(0.1)	(20.7)
	7,816	▼3.7	7.4	7,400	▼5.3	3.8	36,031	▼2.9	10.1
建設・電販	(6)	(▼62.5)	(▼68.4)				(7)	(▼53.3)	(▼65.0)
	26,223	▼0.2	▼8.2	23,100	▼11.9	▼12.9	31,080	1.1	▼3.3
その他内需	(33)	(▼48.4)	(▼49.2)	(500)	(6.8)	(▼1.0)	(39)	(▼49.4)	(▼50.0)
	3,286	0.0	▼14.1	3,000	▼8.7	▼23.1	5,881	2.1	▼9.2
内需計	(1,592)	(▼2.6)	(5.7)	(1,700)	(6.8)	(▼7.8)	(1,725)	(▼10.1)	(6.3)
	53,182	▼2.7	▼2.7	49,600	▼6.7	▼6.6	92,313	▼2.0	1.0
輸出	(771)	(26.2)	(▼16.6)	(400)	(▼48.1)	(▼66.8)	(411)	(30.1)	(▼15.4)
	1,026	7.1	▼50.0	1,100	7.2	▼0.5	4,995	6.5	▼19.1
合計	(2,363)	(5.2)	(▼2.8)	(2,100)	(▼11.1)	(▼31.1)	(2,136)	(▼4.4)	(1.3)
	54,208	▼2.5	▼4.4	50,700	▼6.5	▼6.5	97,308	▼1.6	▼0.2
心線販売	(352)	(▼21.4)	(▼12.2)	(500)	(42.0)	(▼11.2)	(86)	(▼17.3)	(▼10.4)
	22,921	▼13.2	▼14.3	23,200	1.2	▼9.9	17,176	▼7.5	▼5.3

(注) ()内はアルミ線を示し外数。ただし推定欄のアルミ線は電力、輸出部門以外は「その他内需部門」に一括計上。▼はマイナス。
金額は四捨五入の為計が合わない場合がある。

2020年12月分品種別出荷 単位:銅量:トン アルミ量:トン 金額:百万円

品 種	数量	対前月比 (%)	対前年 同月比(%)	金額	対前月比 (%)	対前年 同月比	
裸線	4,069	▼0.1	12.2	2,906	0.8	▼2.0	
巻線	10,904	▼2.2	4.8	10,162	▼1.0	▼8.0	
機器用電線	3,196	2.0	▼1.0	9,598	1.4	2.9	
通信用電線・ケーブル	1,170	▼11.6	▼7.8	2,756	▼7.4	▼3.8	
電力用電線・ケーブル	18,105	▼7.5	▼15.0	19,230	▼7.5	▼13.7	
被覆線	10,794	5.4	▼3.9	15,305	5.1	0.2	
輸送用電線	5,970	▼2.8	5.8	37,351	▼1.7	10.6	
銅電線計	54,208	▼2.5	▼4.4	97,308	▼1.6	▼0.2	
EM電線・ ケーブル	通信用電線・ケーブル	64	▼13.5	▼9.9	220	▼7.9	▼6.4
	電力用電線・ケーブル、被覆線	2,968	▼4.0	▼15.1	3,628	▼0.8	▼8.7
	計	3,036	▼4.3	▼15.0	3,867	▼1.4	▼8.8
アルミ電線計	2,363	5.2	▼2.8	2,136	▼4.4	1.3	
光製品	2,979,562	▼11.8	13.1	27,017	10.3	3.3	
うち、光ファイバーケーブルコード	-	-	-	5,098	▼7.1	▼12.0	

(注) 2. 四捨五入の為計が合わない場合がある。

(注) 3. 光製品の数量はkm

(注) 4. ▼はマイナス

◎ アルミニウム関係

- 国際アルミニウム地金相場、第1週、ベースメタル全般は需給の正当化範囲を超えた上伸が指摘され、警戒感から下落。中国財新2月製造業PMIが低水準となった事も下押し材料になった。加えて米ISM指数の好結果や下院が1.9兆ドルの経済対策を可決したことでのドル高もアルミの下落材料となった。LME在庫が約1.7万トンの純減が見られ、世界総計は月初から約7%減少していることで下値を支えている。といった展開でスタート。第2週、中国全人代で21年成長率目標を控えめに設定し、他にも緊縮的な内容が多く見られたため上海株価は下落しベースメタルも軟調に推移。LME在庫に約3.3万トンの搬入が報じられ、アルミは\$2,157まで急落。ただ、米週次新規失業保険申請件数の減少や株式市場の上伸がベースメタルの下値を支える。第3週、欧州でのアストラゼネカ製ワクチンの使用緊急一時停止により景気回復が遅れるとの警戒感からユーロの下落もベースメタルの下押し材料となっている。FOMC結果を受けた貴金属上昇の煽りを受け、さらには指定倉庫での大量キャンセルワラント発生が相場上昇を支えている。第4週、中国で国家備蓄から約50万トンのアルミ売却検討の噂を受け、一時的に下落するも、中国1、2月のアルミ輸入が前年比151%増で、CO2排出量削減目標達成のための生産量抑制も懸念されるため、下落後すぐに反発。最終週、人民銀の預金準備率引き下げ検討の噂から中国株が反発。またスエズ運河の座礁問題による欧州での供給不安が高まり上昇も座礁船の完全離礁報道で反落。米ヘッジファンドのデフォルト問題で警戒感が高まっており、当面は\$2,150前後の狭いレンジでの推移を予想。

○ 対日オファー及び国内価格

- ・対日オファー価格（CIF） 2021年 2～3月積 2,353.00～2,363.00 ドル/トン
- ・輸入採算価格 2021年 2～3月積 274.10～275.20 円/kg
- ・NSP 2021年 1月 263.30 円/kg
- ・NSP（メーカー対応価格） 2021年 4月～6月 280.00 円/kg

○ IAI統計アルミニウム新地金生産高（単位=千トン）

	'21年1月	'21年2月	'20年2月
月生産	*2,407.0	2,186.0	2,239.0
平均日産	*77.6	78.1	77.2

(*＝訂正有り) 中国は対象外にしております。

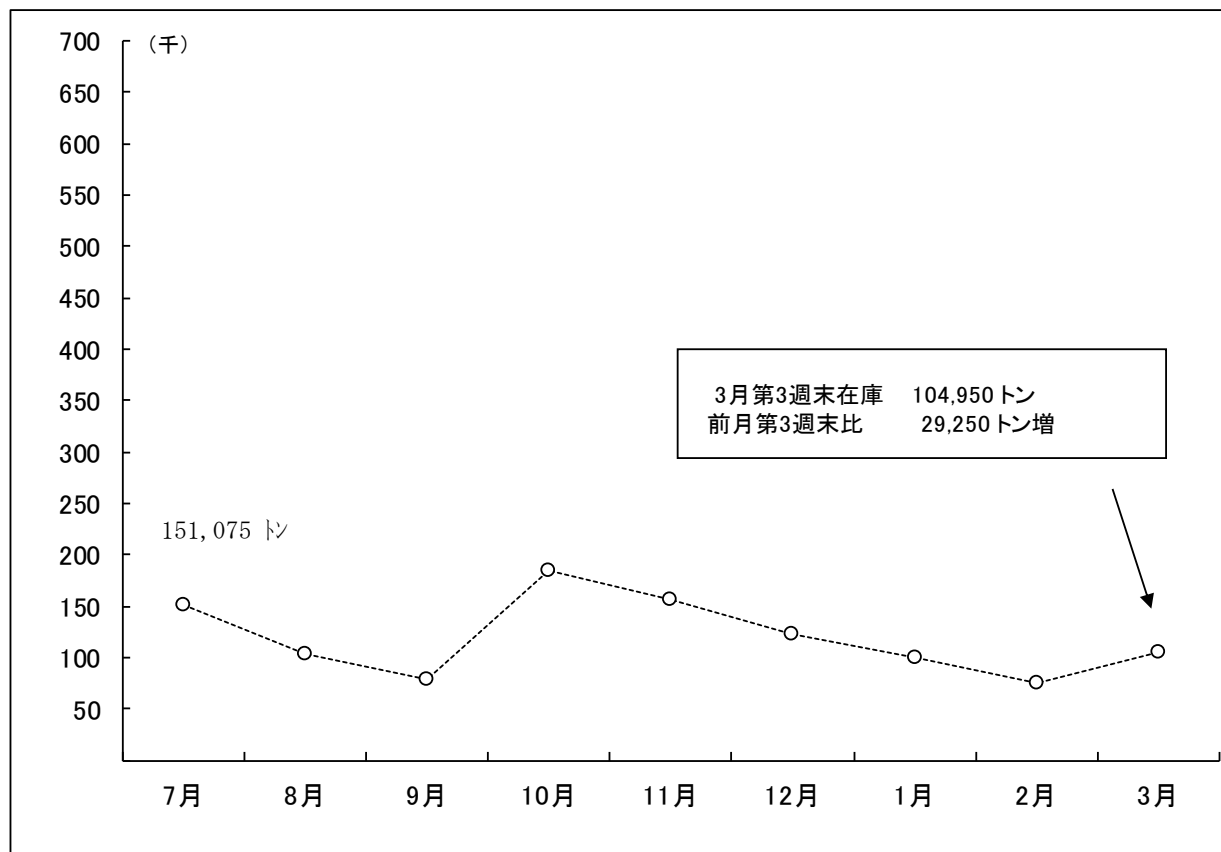
○ アルミインゴット港湾在庫

(単位：トン)

	2020年11月	2020年12月	増減	2019年12月	増減
横浜	133,100	135,900	+2,800	160,000	-24,100
名古屋	102,800	110,000	+7,200	139,000	-29,000
大阪	18,100	21,000	+2,900	15,000	+6,000
合計	254,000	266,900	+12,900	314,000	-47,100

上記アルミインゴット港湾在庫に変更致しました。(2015年1月分からの変更です)

◎ LME銅在庫 (各月第3週末参考)



◎ COMEX在庫 (第3週末)

・ 21年3月19日現在 70,949 S T 前月比 5,478 S T 増

◎ 国内山元電気銅在庫

・ 21年1月末 120,212 トン 前月比 9,810 トン増

◎ 伸銅品生産実績

・ 21年1月確報 58,854 トン
 ・ 21年2月速報 63,980 トン 前月比 108.7 %

◎ 電線出荷実績

・ 21年2月速報 52,000 トン 前月比 102.6 %

◎ 軽圧品生産実績

・ 21年 2月	板 類	89,875 トン	
	押 出 類	54,819 トン	
		<hr/>	
		144,694 トン	前月比 107.8 %

以上簡単ですが銅概況、他のご報告申し上げます。